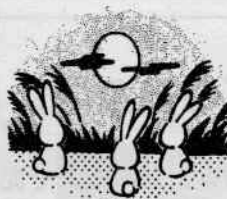


白岡ニュータウン自治会だより

9月お月見号

平成14年9月24日
白岡ニュータウン自治会発行
会長 岡田光旦



挨拶と花と緑の
明るいニュータウン

<私の視点>

『美しく年をとる街』

金森一雄

日本人の平均寿命は、女性が84.93歳、男性が78.07歳で、男女とも世界のトップクラスとなっている。しかも、この10年間で女性は約3年、男性は約2年、平均寿命が延びている。果たして、白岡ニュータウンに居住する私たちの平均寿命がどのような数字になるのか大いに楽しみである。

この街は、平坦で歩道と車道の区分も明確であり、幹線道路にも面していない。しかも、場合によっては医療施設の充実した東京まで救急車が運んでくれる所にある。まさに、ここは老人にもやさしい街と言えよう。

「病気になったときに経済的に大丈夫か」という心配から、「老後の生活が幸せになるかどうかは、お金の蓄えで決まる」と考えがちである。しかし、「老後の生活を充実させるポイントを重要なものからあげると、①健康、②興味を持って取り組める新しいことがある、③友人、④家族関係、⑤金、の順である」という調査結果を目にした。どうやら、老後の生活の満足度とお金とは、さほどの相関関係がないようである。こうしてみると、21世紀の新白岡のこの街に住む私たちの課題は、いかに美しく年をとるかにあるのではないだろうか。

私どもの家族を含め、God's Handの導きを得て白岡ニュータウンに招かれた人々の群れを見つめて見よう。バブル経済が崩壊する以前は、この街に入居するために、「抽選会で当たりくじに出会いますように」と必死に祈られた方々も多いと聞く。私の場合も、当初申し込んだ住宅では見事にハズレくじを引いた。それでも「この街が気に入ったから一日も早く住みたい」と販売センターにお願いし、キャンセル待ちで現在の家に入居した。それぞれの家庭で、それぞれ異なった夢と希望に、祈りが積み重ねられて白岡ニュータウン全体が構成されている。

我が家の一人娘は、現在大学一年生で19歳になるが、篠津小学校で5年生まで過ごし、最後の一年間を新設の白岡東小学校に通い、第一回卒業生となった。あれから6年たったので、現在の白岡東小学校には篠津小学校に通学した経験を持つ子どもたちはいなくなった。

いずれ、私たち白岡ニュータウンの住人が、この地を自分の故郷と言う日が来る。その時には、この白岡の地にしっかりと根を下ろしているか、どのようなビジョンを持って歩いて来たのかが問われるだろう。そのためにも、白い梨の花咲く白岡町の白岡ニュータウンとして、高岩・駒形・野牛・篠津といっしょになって、美しく年をとる街づくりの夢を描く。2003年には、白岡東小学校の第一回卒業生が成人式を迎えるが、新成人を交えて、この夢をじっくり祈り求めて行くことが必要である。



特集

我が家を『窃盗犯罪から守る対策』を考え直してみませんか！

防災・防犯・交通担当 副会長 飯塚 牧 三

夕方から夜にかけて留守の家を狙ったこそ泥が窓ガラスを破って進入し現金や家電製品、金庫等を持ち去るといった窃盗事件が7月26日と27日の両日(住宅4件・店舗3件)発生しました。この窃盗事件に対し8月2日、久喜警察署(刑事課)に行きニュータウン自治会としての被害報告と事件の捜査状況、白岡ニュータウン内の警戒体制の強化、さらに駅前交番における無人化状態の回避等について文書で要請すると共に被害にあわないための各家庭での対策を聞いてきました。

これら事件に類する窃盗事件は埼玉県内でも広範囲に発生していること。犯行手口から一般住宅、商店、事務所、倉庫等に分かれていることから、複数のグループがあることは確認されているが犯人逮捕に至る有力な手掛かりは得ていないとのことです。

自治会役員としてこの事件の発生を重大事件と捉え緊急班長会議を開催し、そのなかで各街区の班会議を早急に開催する事が決定されました。この決定に基づき現在、班会議が開催され「我が家の防犯対策」について活発な意見交換が行われその内容が報告されています。この班会議のなかで要望等の方向性が出てくれば「防災・防犯・交通担当」で対策を講じていきたいと考えております。

何れにしても、基本的には各家庭での防衛をお願いします。そこで、思い切って発想を変えて頂き「もし自分が他人の家に進入し窃盗をしようとしたら」どんな家なら狙いやすいか。そして、思いあたる所を「我が家の改善策」として取り組んで行く、そこに被害者にならないための「ヒント」があるように思います。

8月30日にも久喜警察署に行き事件の進展状況を聞いてきましたが、報告できる段階にないとのことです。また、新聞に窃盗犯逮捕のニュースが掲載されていますが、ニュータウン内の犯人に結びつくのとも言えない状況にあるとのことです。

他の窃盗団も警戒感を強めて活動を控えており、いずれ活動を再開すると思われるので皆さんには、従前よりも身を引締めて欲しいとの要望がありました。

(参考)

※事務局に防災用品のパンフレットと防災用品の一部を購入しておきましたので参考にして下さい。

※業者に門灯の自動点滅機の見積りをお願いしたところ9,500円とのこと。件数がまとまれば費用については再検討するとのことですので、希望される方は、10月11日(金)までに事務局(93)5133に申し込んで下さい。

※盗難事件の情報は随時、2チャンネルで知らせておりますので見て下さい。

【我が家の防犯対策 Q&A】

Q・門灯の明かりをつける意味はなんですか。

A・家屋に進入する前に門灯がついていないと近づき留守を確認、さらに近隣の様子を見て犯行に及ぶといった手口で行われています。玄関が暗くなっているため犯行もしやすくなるためです。

Q・生け垣が高く生い茂り道路から見えにくい状態の家が狙われる理由はどうしてですか。

A・生け垣が高く生い茂っていると進入しても隣の人や通行人に見られずに進入できること。隠れやすいこと。等から改善する必要があります。

Q・何故、道路に面した家(とくに角地の家)は注意が必要なのですか。

A・窃盗犯は短時間で犯行を実行し現場からすぐに逃走するための経路が必要になりますので最も進入しやすい家としてマークされるわけです。

Q・不審な物音がしたら確認をした方がよいのですか。

A・盗難事件にあった家庭をみると夜は二階で安眠しているため、一階での物音に対し家族の誰かが起きているくらいにしか思わないケースが多いようです。確認をした時、もし犯人と顔を合わせた場合は「泥棒～」という大声をあげる(防犯ブザー使用)と犯人は逃走するので、身の安全を第一に行動して下さい。

Q・一度、被害にあった家は再び狙われるということは無いと思いますが。

A・窃盗犯にとって犯行を行うのに好条件にあるため再び狙われる可能性が大いにありますので注意が必要です。

Q・通路に砂利を敷くと良いという話を聞きますが何故ですか。

A・犯行を犯す者にとって歩いた時に音がすることは誰かに気づかれはしないかといった恐怖心があるので効果がある訳です。

Q・駐車場がわりの路上駐車はやめるよう自治会から言われます。どうしてですか。

A・常に、路上駐車が行われている状態は犯行に自動車を使いやすい環境を助長していることとなります。どうしても路上駐車をする場合は、所在を表示して下さい。警察でも不審車を見かけたら躊躇せず110番するようにとの要請がありました。

Q・出かける時は隣近所に一声掛けることは必要ですか。

A・留守とわかっていれば不審者に用件を尋ねてみる事も可能な訳ですから被害を未然に防ぐこともできます。

Q・外出する時間・帰宅時間を変えると良いと聞きましたが何故ですか。

A・犯行を犯す前に綿密な下見をしています。その時、不在になる時間帯がわかる訳ですから安心して家内に進入することが可能になります。

Q・不審者を見かけたら110番するのは何故ですか。

A・犯人逮捕は早期対応が必要です。その際、駅前交番に電話をする人がいるようですが、不審者を見かけたらまず110番して欲しいとのこと(パトロール班が直行)通報する時は、服装・容姿・車種・ナンバー最小4桁を知らせて欲しいとのことです。緊急でない場合の久喜警察署の電話番号は(0480)24-0110です。

以上の項目を守って頂けるだけで、かなり防げるのではないかとのことです。窃盗犯にとって嫌なことは、明るさと音、そして誰かに見られるのではないかとといった恐怖心を抱かせることのようにです。役員としてできることは、皆さんに被害者にならないための注意と情報提供であり警察署への要請です。皆さんにお願いしたいことは、自分の家を再検証し、空き巣に狙われない環境づくりを考えて欲しいと思います。自分たちの住む街として、安心して生活できる・安全な街づくりのためにもご理解、ご協力をお願いします。

“かしこい、消費者になっていただくため”

……あの手この手を使って私たちを狙う悪質商法……

住宅のリフォームから子供の教育、お墓に至るまでありとあらゆる商法があらゆる手段を使って家庭を訪問してきます。

当自治会においても、CATV(2チャンネル)で知らせていますが最近、生活に直接関係した水道・下水道の配管業者がしつこく各家庭を訪問しているとの相談が寄せられています。

この相談をまとめてみると最初にインターホンを鳴らし「水道・下水道の配管を点検させてください」と言って語りかけ、躊躇していると断りもなく宅地内に入り雨水や下水のマンホールを開け点検を始める。業者の所に近づいて行くと「わあ~汚い」これは早急に清掃をしないと大変なことになる等、言葉巧みに工事の必要性を扇動するものです。

このような場合は、役場に問い合わせをしてみる。あるいは、いま主人(家の者)が不在なのでと言ってまず断る。そして冷静になって検討することが賢い消費者だと思います。どうしても会話を重ねると断りにくくなったり、業者を信じきってしまいがちですが曖昧な返事は相手に対し希望をもたせ迷惑をかけることにつながる等トラブルを引き起こす大きな原因にもなっているようです。業者は心を誘導するプロですから、はっきり断る勇気をもつことが大切です。相手が引き下がらない場合は「ちよっと待って下さい」と言って家に入り110番通報する。又は近所の友人を呼ぶことも一つの方法です。

被害にあわないために、そして被害にあったら躊躇せず相談をしましょう。

【被害にあわないための5ヶ条】

- ①本当に工事が必要なのか。必要がないと思えば、きっぱりと断る
- ②高額な契約やうまい話には、要注意を!
- ③その場で契約しないで、家族や友人に相談する
- ④契約書の内容、サービスの内容を十分検討する
- ⑤口約束は禁物、契約書に必ず書いてもらう

※困った時の相談窓口

* 埼玉県消費生活支援センター(春日部) : (048)734-0999

毎週月~金曜日の9:00~12:00 13:00~16:00

* 白岡町役場(商工課) : (0480)92 - 1111 内線 283 総合的な相談は「春日部」にお願いしますとのこと。
防災・防犯・交通担当副会長 飯塚牧三

『こんな経験をしました！！』

1-22-5 淵上真理子

「排水管の定期点検にまいりました」

インターホン越しにそれだけいうと、3人の男性の作業員が我が家の敷地内の排水口のふたを全て開けて回りました。あれよあれよという間のことで、怪しいと思いながら、どこにどう確認すべきかとも思い浮かばずにいると、「奥さん、ちょっと外に出てきてください。」と呼び出されました。

「そろそろ清掃の時機ですね。だいたい3年目が目途ですが、入居して何年ですか？5年？！じゃあ、もうやった方がいいですよ。」と一方的。「ちょっと待ってください。定期点検って、どこからの依頼でいらしてるのですか？管理組合？それとも自治会？」

細かく問いただすと、『定期点検』などと、どこからかお墨付きをもらっているようなニュアンスを持たせているだけで、ただのセールストーク。あちらの常套手段にまんまと乗せられ、勝手に敷地に入ることを許してしまったことが腹立たしいし、主婦だからと甘く見られたくない。問いただす口調を必死で厳しくしてはみたものの、汚れが付着した台所の配水管や境界の植栽の根が入り込んだ排水管を実際に見せられてしまうと、なんとなく断りにくく、結局、清掃してもらうことにしました。

後から考えれば、価格、アフターサービス等、検討の余地は十分あったと思います。ただ、集合住宅と違い、戸建ては共用部分までの排水管は自己管理。今回このような形で排水口のチェックを行わなければ、見えない部分でもあり、全く気づかないまま過ごしてしまった可能性なきにしもあらず。日常生活上の排水についても改めて考えさせられました。とりあえず排水管はきれいになりましたし、いろいろな意味で注意喚起されたことを思うと、良かったかなとも思っています。

こうしたセールスに対しては、常に心構えができているとは限りません。ちょっと話を聞くつもりが丸め込まれてしまうこともあり得ます。例えば、排水管の手入れとか外壁工事は、築年数や居住期間がだいたい同じ班や街区で日頃から連絡を密にしたり、情報交換をすれば、時期や価格を業者と共同で交渉することもできるのではないかと思います。また、自治会の情報チャンネルや回覧を利用して、ニュータウン全体でさまざまな情報を共有化することも未然防止につながると思います。

いずれにしても、私たち自身がみんなで賢くなることの大切さを痛感致しました。

皆さんの力で『総合防災訓練』を成功させよう！！

【炊き出しから避難誘導・消火器の使用に至る一連の総合防災訓練に参加を】

「災害は忘れたころにやって来る」といった言葉がありますが、現代社会においては「忘れたころ」というよりも、私たちは常に災害に脅かされている状況にあります。

阪神・淡路大地震のような災害が発生した場合、道路事情も悪化し消防車や救急車はすぐに駆けつけられない等の問題が発生し、防災関係機関の活動が著しく制約されることが予想されます。こうした事態においては、初期消火から、被災者の救出・救護、避難に至る作業のすべてを自治会員である皆さん方の手による自主防災活動に頼る以外にありません。

しかし、こうしたなかで住民一人ひとりがばらばらに行動していたのでは活動にも限界があり、その効果は期待できません。まさに、「自分たちの街は自分たちで守る」といった体制をとっていく前向きな姿勢が必要になってきます。

そこで、日頃から訓練を重ね、緊急事態に対応できる力を蓄えておくことが必要です。今年は子供からお年寄りの方まで一つになった参加型の防災訓練を考えております。訓練内容として「炊き出し訓練」を始め役場からの非常食の配付、消防署の指導による「通報訓練」・「初期消火訓練」・「応急救護訓練」、警察署から自転車の前かごに設置する防犯ネットの配付等をお願いしています。体験して覚える以外にありません。ボランティアでお手伝いをして頂ける方、ひやかし、飛び入り大歓迎です。

この機会にご近所のみなさん、お友達を誘いあつての参加をお待ちしています。

記

1. 期 日 平成 14 年 10 月 20 日(日)
2. 時 間 午前 10 時から 12 時まで
3. 場 所 かじや酒店裏(お客様用駐車場広場「総合住宅販売」)
4. お願い 応急救護の訓練に参加される方は風呂敷、スカーフを持参して下さい。
ない方は主催者側で用意いたします。

防災・防犯・交通担当副会長 飯塚 牧 三

《コラム》

“この町・この街”……自然との共生を……

永田信夫

今年の夏は本当に暑かったですね。35度を越える日々が続く各地で暑さ対策や熱中症対策などが話題になっていました。埼玉県でも観測地である熊谷で39度が記録され、来年は40度越えも憶測されています。新白岡でもその時気温は何度になってなっているのでしょうか？


フロンガスの影響やエネルギーの消費による温暖化によって、どうも地球がおかしい。1000万人に被害が及び、60万人が避難したと報道されている中国を初めとして、ドイツ、チェコなどでも大水害に見舞われていて連日海外ニュースのトップ記事になっています。ダムの有無など全く問題にならない程の自然のエネルギーが働いているのだらう。氷河も溶け出して湖を創り出し、太平洋上の島は近い将来には水没してしまう危機に瀕していると言われている。大自然の前に人間は何とも無力であると改めて知らされている今日この頃であります。しかし、その地球の怒りの原因が人間のエゴや欲望によるとなれば何と悲しい事でしょうか。温暖化対策の為の京都議定書に全世界が参加し批准し、地球を元の姿に戻す方向に進めればと祈っています。

私が育ったのは東京都下の田無市（現西東京市）で市名の由来のとおり田んぼが無く畑ばかりの地域でした。その後も都内などに住み田んぼとは無縁の生活を送りました。

8年前に新白岡に越して来て、間近に田んぼの有る生活に触れ驚きの連続でした。米が主食の日本人でありながら、これまで田植えから収穫までの過程を経験することが有りませんでした。水の流れの音を聞きながら、稲の成長を目で確かめ、日々変化してゆく風景を体感出来る生活が日常になった時、駅までの道のりのBGMはカエルの鳴き声になりました。暗い夜道に響き渡る大合唱には、私を別の世界に引き込んでしまう程のパワーを感じていました。

天候不順が原因で起きた米不足の時に食べた外米の味と、翌年、知人から入手した玄米を近所で精米し、すぐに食べた時の味の違いには大変驚き、日本の農業と食文化のすばらしさを実感することが出来ました。

最近、少しづつ家が建てられ、目にする風景も多少変って来ています。大自然では無いにしても、身近な自然と触れ合いながら生活出来る環境を求めている私にとって、道路拡張など町の発展と自然を残していくことの折り合いが、どの様につくかを考えている今日この頃です。


 点描

『町村合併』

高薄克人

7月に白岡町が催した市・町合併の住民説明会に参加した。関係者の間ではすでに大きな話題として論議されてきたようだが、ここ2-3ヶ月の間に新聞や町の広報誌で取り上げられてきているので私たちの目にも付くようになってきた。

平成15年3月までには白岡町が近隣のどこの市・町と合併するかを決め、17年には実施する予定である。この事業は国と県が主体となって進めており合併作業を促進するために莫大な補助金（合併特例債の7割負担という形）を出すという「アメ」も用意されている。最近、久喜市と鷲宮町が合併にむかって協議会を作り周辺の市・町にも合併参加を呼びかけるという記事が出た。一方、戸田市は、市長自ら合併は不要として予定されていた合併話から離脱するというニュースもある。これから益々このような論議が盛んになってきてわが白岡町も当然ながら煽られることになりそうである。

しかし、住民へのサービスを第一義とする市や町を合併して大きくするのは何故なのか。説明によると、地方分権を進めるにあたりいまの市・町の規模や人的能力では受け皿になれないということらしい。併せて議員数や、職員数を減らして経費節減効果も期待しているようだ。

「まず合併ありき」というムードの中で、バスに乗り遅れるという焦燥感から結論を急ぐことに少なからず危惧を感じる。世の中は合併と分離が交互に周期的に起こるようで今は合併の時期に当たっているのかもしれないが、やがて肥大化した組織の非効率さが表面化すると分離にシフトし始めることになる。補助金はありがたいが急ぐあまりに無駄なものを作り、後に重い負担が残ることも多い。今回は地方行政を身近に見直す良い機会と捉えて議論を重ねて拙速は慎みたい。

“子供お楽しみ会を終えて”

子供部会理事 甘利 健一

同時開催予定の盆踊りが一日延期となりましたが、お楽しみ会は予定通り行いました。参加者は子供達が130人位、同伴の父母及びボランティアのお手伝いの方を含めると広い体育館が、一杯になるほどでした。

主催者からの一方的な気持ちですが、イベントを企画して人が集まってくれる事が一番嬉しいものです。盆踊りのイベントも同じだと思いますが、暑い日中汗まみれになって準備する訳ですから大勢の人が集まってくれる事が何よりです。又、その結果楽しかった、おもしろかった、というプラスの反応があった時が2番目の喜びです。今回アンケートを採り忘れてしまいましたのでそれはわかりませんが、全員参加の〇×クイズ、そして盆踊りの練習と子供同士又大人も交えて、一体感のあったお楽しみ会が出来たと思っています。勿論つまらないとか、もっと違う事をしてほしかった等のご意見もあると思いますが、今後イベントを計画していく上で、どれだけ多くの方が、集まってくれるか、又楽しんでくれるか、という事を考え、マンネリ化しないで活気のある自治会活動をしていくべきだと強く感じました。

最後に、お楽しみ会、盆踊りと華のある活動をしてくれました、高瀬さんと新体操クラブの子供さん達に心から御礼を申し上げます。皆を楽しませてくれて本当にありがとうございました。



(ボランティアでお手伝いの皆様です。)

【子供お楽しみ会に参加して】

子供部会班長 山本 明 瑞

我が家の小学生二人は、子供会の行事が大好き。出席率90%超を誇る子供たちを見ていると、保護者としてもお手伝いをせざるをえまい。そうした気持ちから、子供部会を希望した。希望してはみたものの、“いまどきのこどもたち”がどんなことに喜んでくれるのか。我が子に照準を合わせてみても、とてもスタンダードとは思えず。おみこしの夏祭りから、ゲーム主体のお楽しみ会へ大きく変化。新趣向がどれだけ受け入れられるのか、少し不安を感じていた。しかし、会の準備段階から、子供に希望や意見を求めたり、ポスターを描かせたり、盆踊りの練習に参加させていただいたり。準備自体を親子して楽しむうちに、当初の不安は杞憂だったかな、と思えるようになった。さて、お楽しみ会当日。立派なストライクアウトのボードや念の入ったパズルに感激。今回は、盆踊りの練習やアートバルーンコーナーなどにボランティアの方々が加わっていただき、大いに支えられたことも特筆すべきこと。私はベープブレードコーナーを見ていたが、幼稚園児でも勝負は真剣。勝てばうれし、負ければちょっぴり涙も出る。“いまどきのこどもたち”も私がよく知っている昭和40年代のこどもたちとそう変わりはないんだ…。妙に納得した気分になって、後片付けをした。

子供部会班長 櫻井 恵 美

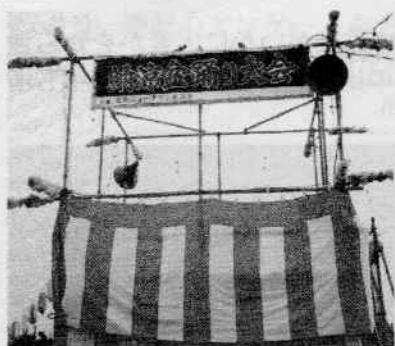
暑い、暑い夏休みも終わり、ホッと一息ついていらっしゃるご家庭もおありでしょう。勿論我が家も例外ではなく、2学期の始業式が待ち遠しかったのは私の方かもしれません。

今年は子供部会の一員として「子供お楽しみ会」のお手伝いをさせて頂き、充実した夏を送ることができました。

夏休みも終わりに近づいた8月24日、白岡東小学校で行われた子供お楽しみ会は、アートバルーン・ストラッグアウト・ベープブレード・パズルの4種目がありました。各々どのエリアでも、元気一杯に残り少ない夏休みの一日を楽しんでいる子供達の姿が見られました。中には結果に納得できず涙する子、満面の笑みを浮かべて、素直に喜びを表現する子、ハシヤギ回る子供達の様子に、私達役員も、しばし暑さを忘れてしまうほどでした。とてもエキサイティングな催し物だったと思います。

最後に役員の皆様、お手伝い下さった皆様暑い中、本当に御苦労様でした。子供達の笑顔の為に、今後益々「子供お楽しみ会」が発展致しますことを、心よりお祈り致します。

『納涼盆踊り大会』を振り返って



文化部長 島田晴夫

直前の雨天予報で、やむなく順延になった納涼盆踊り大会の25日(日)は程好い暑さになり大勢の来場者を迎え、皆様方のご協力により無事終了することが出来ました。ご協力頂いた方々に心より御礼申し上げます。私は一昨年の8月にこのニュータウンに転居し、盛大な盆踊り大会を見てビックリしてから3回目。楽しむだけの参加者から一転、運営する側の立場になり・・・企画から広報まで事前に想定される細々した準備、打ち合わせから後片づけに至るまでの役員の方々や班長さん達の活動やご苦労にはただただ頭が下がる思いです。

大会会場での色とりどりの浴衣を着た女の子達が童話のBGMに合わせ、一生懸命お魚踊りに興じる姿や福引き抽選券を握り締め、当選番号のマイク発表に固唾を飲んで待つげな子供達の目の輝きには正直、感動しました。また、過去の運営に携わった諸先輩の方々の適切なアドバイスや整理された貴重な資料には感謝の気持ちで一杯です。

この魅力ある白岡ニュータウンが将来に亘って、少しでも暮らしやすくなるための自治会活動を夫婦共々「これからもお手伝いしよう」と話しながら、鈴虫の音が秋の気配を感じさせる夜道を家路につきました。



【盆踊りに参加して】……………広報部班長3人様に書いて頂きました。(広報部)

広報部班長 佐藤肇

今年の白岡東小での納涼盆踊り大会は、残念なことに雨天予報のため、当初の8月24日から25日に順延となりました。でも、日程が変更したにもかかわらず、たくさんの来場者がお出かけくださり、盛況で無事に終わることができました。皆様、ご協力ありがとうございました。

私はスーパーボールの担当でしたが、予想外の子供たちの人気にびっくりしてしまいました。これは、「金魚すくい」のように薄い紙を上手に破らないように、又、破らないうちにすくい取るゲームなのですが……。子供たちの超繊細な技、荒技、豪快なる飛び技等々と、それぞれ個々の技を生み出して見ている方もとても楽しませて頂きました。様々な子供たちの、その中でも、49個のスーパーボールをすくい取った少年は、正攻法で挑んだだけに超美技でした。本当に上手でしたよ。来年はいくつが最高数になるのかしら。

暑い夏の夜、大勢の方々の参加をいただき少しでも喜んでいただけた様子に、役員としてありがたく思いました。

広報部班長 宮城征子

ヨーヨーを担当しました。要領のよい子、生真面目な子、色々な個性がみられました。とにかく売り切れてほっとしました。いつかテレビで見たが、ヨーヨーはフィリピンが発祥地で、世界中で“ヨーヨー”といえど通じるとのことでした。何時も主人と二人だけの生活なので、子供たちが楽しそうに遊んでいるのを見て、元気をもらったような感じになりました。ヨーヨーは腕を使うので、子供だけではなく、高齢者にとっても軽い運動、ボケ防止になるのでは、と思いました。

広報部班長 永田信夫

今年の盆踊りは、前日の予報から判断し、一日順延され、8月25日(日)の開催となりました。当日は残暑が厳しく午後の準備作業の段階から理事・班長ともに汗みどろでした。

6時からの本番では輪投げと、ボール投げの担当でしたが、他の店と離れた場所にポツンと設置された為か、なかなか子供達が来てくれませんでした。やがて少しづつ、ゲームに参加してくれる子供さんが現れ始めたので、盛り上げようと大盤振る舞いをした結果、約1時間で景品が無くなって、店終いとなり、ゲームをしたかった子供さんには申し訳なく思っております。しかし、小さな手に景品をかかえて喜んでくれた子

供さんの顔を思い出すと、それでも良かったと感じています。

その後、福引きの抽選の手伝いをしましたが、何も当らずガッカリして家路につく皆様の姿を見て、せめて参加賞でも渡せればとも思いました。

後片付けも、当日の夜と翌日の朝早くからと続き、催し物を行う際の裏方の作業がいかに大変かを知らされました。盆踊り大会に参加される人数が毎年増え続けていると聞き、今年の出来から判断して、来年も増える事を祈っています。



『納涼盆踊り大会寄付金』御礼

今年の「納涼盆踊り大会」は8月25日に盛大に行われました。

ご寄付金を頂き有難うございました。今後共宜しくお願い申し上げます。

自治会長 岡田光旦

*ニュータウン自治会員 ☆1丁目(88戸) 68.200円 ☆2丁目(285戸) 215.500円
☆3丁目(481戸) 341.100円

☆グランテラス(138戸) 103.200円 【合計:992戸 728.000円】

*当日福引券 13枚 【9.100円】

*一般寄付 【345.000円】

(10.000円) 藤野医院・杉の子幼稚園・㈱ヤオコー新白岡店・むさしの営繕・㈱白岡ガス
㈱武蔵野銀行新白岡支店・(有)玉木印刷・河村税理士事務所(河村芳明)・
桜井造園・テレコム通信工業㈱・山口電気商会・(有)白岡総合造園

【12件 120.000円】

(5.000円) イイズカ薬品新白岡店・わたなベクリニック・新白岡駅前郵便局・味膳・
高井歯科・ジャンジャン・ほそや・セブンイレブン新白岡店・理容ムサシ・
め組・白岡ニュータウン歯科・やおかつ・山本クリニック・Ky美容室・
寿司処たての・ログハウスくら・㈱ワイシーシー・カットハウスMOMO・
イコア・小林商店・(有)呉服のたぐち・(有)浜田電気・細谷豊店・(有)カジヤ・
総合地所㈱・総合住宅販売㈱・㈱住い・歌の広場キャッスル・㈱日展・
野原建設・関山無線・白岡東小学校

【32件 160.000円】

(5.000円) その他1件

【1件 5.000円】

(3.000円) 国大セミナー・ヤマハ音楽教室・パソコン市民講座・ボンブドウボンボン・
第一生命・ほっかほか弁当日本亭・高橋接骨院・アークヘア・㈱タイアップ
はまだ歯科医院・新白岡歯科・かねこ美容室・進学塾サイシン・小出政彦・
(有)アメニティリース・(有)シマ・フォト・白岡町・白岡町教育委員会

【18件 54.000円】

(2.000円) ジュゴン・プロカットログ・スワールルア

【3件 6.000円】

(その他品物) ☆フレンドマートさいとう:フレンドマート賞(10本)

☆京樽:お茶(3ケース) ☆武蔵野銀行新白岡支店:うちわ(30本)

(樽一式) 総合地所㈱

……敬称略・順不同……

以上

『生垣一斉消毒』アンケートまとめ

自治会衛生部

過日、標記のアンケートをお願いしたところ、67%にあたる605戸からご回答いただき、有難うございました。以下に回答結果を示します。

消毒をした 489 戸 (81%)				消毒しなかった 116 戸 (19%)
A10% 良い	B 49% 前回と変わらず	C 31% 前回より悪い	無記入 10%	

《消毒しなかった主な理由》

- ★家庭菜園用消毒器具があるので。種々の害虫発生時期に適宜散布。
- ★以前、業者の杜撰な散布を見てから自分で必要に応じて駆除。
- ★庭で栽培している生食用の果実収穫時期のため。
- ★回覧を見忘れ申込みせずに終わってしまい残念でした。
- ★これまでの一斉消毒が効果なかったので自分でやることにしている。
- ★一斉消毒に抵抗感あり。農薬使用は手っ取り早く簡単でしようが、木酢を使うなど、もう少し環境に配慮したやり方を検討してほしい。
- ★ハーブ等の栽培をしているので。
- ★消毒に来る時間がわからず、留守中に来られると犬がいるので困るから。
- ★薬剤アレルギーなので消毒はしない。卵の時期に水で洗い流す。
- ★年2回では間に合わない。
- ★一斉消毒義務化は個人の権利および生態系保護（回復）の点で反対。
- ★シルバー人材センターに依頼したため（時期が選べること、梅雨明けにもお願いできることから、班会議で決めた）。

《Aの主なコメント》

- ◎安全性の面では前より良かった（以前は喉が痛くなるようなことがあったが）。
- ◎ウメ、アカメのアブラ虫に毎年苦勞しているが、とても効果あり。また消毒後の葉の枯れが出ず、良かったと思う。
- ◎予備日ははっきりしていて、わかりやすかった。
- ◎作業は前回よりも丁寧だったと思う。ただ直後から雨が続いたこともあり効果は疑問。思い切って日延べが必要かも。
- ◎前もって確認をとってやってくれたので、良かったと思う。
- ◎前回までの業者と比べ対応等格段に良い。但し薬の効き目はまずまず。
- ◎消毒実施日がテレビ画面で確認できたり、順延というかたちではなかったのが良かった。
- ◎毎年、モミジやサツキに虫がついて困っていました。今回は消毒の申込みをしました。効果はありました。虫がいないです。

《Cの主なコメント》

- 散布量が不足なのか、早くも毛虫やアブラ虫が活躍している。
- 家（前の家）と家（後ろの家）の間の垣根を両面から消毒してほしい。
- 薬剤の効果が短時間でなくなった感じがする。
- アブラムシが全く死んでいなかった。
- 虫の発生に合わせて時期を考慮してほしい。
- 雨のせいかわかりませんが、前回より効果が無かったと思う。
- 枝の繁っている生垣、樹木はもっと丁寧な散布が望まれる。
- 監視していないと作業を手抜きする。やった後すぐに虫が発生する。
- 消毒の仕方が大変ズサン。やり直しをしてもらおうと思ったが締切りが過ぎていた。
- いつもより雑に消毒をしていたように思う。消毒時にハンドマイクなどを使って、その街区外の周りの家に開始がわかるようにしてもらいたかった。
- 庭に入って消毒をしている様子がなかった。また開始・終了がわからず、洗濯物の出し入れを何回もしてしまった。
- 今回は今までになく最低でした。全く効果なく虫だらけの状態でした。

- 消毒後もかなり虫食いの跡が見られた。いつもより消毒液が薄いのでしょうか。
- 散布して数日後、毛虫は自分で駆除した。
- 葉のかかってない樹木がある（ぬれている様子がない）。
- 二台駐車場の垣根を消毒していかなかった。
- 雑な散布、散布時間が余りにも短かった。窓を閉める余裕のある事前連絡が無かった。
- 生垣のヒイラギには、今回の消毒液は全く効かなかったように思う。
- 散布は生垣のみと言われた（庭木全てお願いしたいです）。
- 家側の植木は消毒されていなかった。
- 施工日に終了の用紙が入っていなかった。
- 前はテラスの所の植木鉢にも消毒液をかけてくれましたが、今回は消毒してくれなかった。

《Bの主なコメント》

- 散布の仕方が大まかで、全部の木に薬剤が散布されていない様だった。
- 消毒してもあまり効果がないように思う。
- 消毒が1回では効果が充分でないと思う。1週間ぐらい間をあけて2回してほしい。
- 農薬散布には抵抗感があるが毎回頼んでいる。
- 散布されてない処もあり、またすぐに虫が発生したので、薬剤を考えて効果の持続性を望みたい。
- 消毒作業は昨年とほぼ同様でしたが、実施方法、中止の連絡等改善されて良かったと思う。効果のほどはともあれ同一時に全戸一斉が望ましいと考える。
- 風の強い時は注意してほしい（通行中薬剤がかかった）。
- 消毒当日は留守をしましたが、ムクゲ等に駆除の跡が見受けられ安心しました。
- あっという間に終わり驚きましたが、梅の木の虫には良く効いたようです。
- 散布時期が遅いように思う。もう少し早めでもよいのでは。
- 業者が替わっても、消毒する方によって丁寧にする人と雑にする人がいます。
- 車が車庫にはいつているのに散布されたので、消毒前に一言声をかけてもらえれば移動できたので、今後は注意してほしい。
- 前より丁寧だと思います。ただ生垣にハダニがつくので、それには効かないようです。
- 消毒後も葉の裏側や重なった部分の虫が残っていた。
- 時間をかけて沢山消毒液を撒くことが良いことなのかわかりませんが、前回に比べて時間が短かったことは確かです。
- 奥行きのない庭なのに道路から散布のため、窓ガラス等ビショ濡れになった。散布の方法を考えてほしい。
- 2チャンネルの「お知らせ」が役立った。
- 隣の空地进行管理している人に費用を出してもらって、草も消毒してほしい。
- 価格が均一になったことは良かった。

【今後の取り組み方】

BとCを合わせると80%となり、大きく期待を裏切ったこの結果を謙虚に受けとめ、8月24日（土）白岡総合園芸（責任者2名）と衛生部理事の岡田・折本の4者で、このアンケートに基づき今後の対応について検討を行いました。その要旨は次の通りです（順不同）。

- 「生垣消毒」という言葉は不適切、今後は『生垣・庭木害虫駆除』とする。従ってテラス等にある鉢植・盆栽等は対象外。
- アブラ虫、毛虫を主たる対象とし、即効性のあるディプロレックス1000倍液を使用するが、これで駆除できない虫（例えばカイガラムシ、オンシツコナジラミ等）も当然あることを承知しておいてほしい。これらには個別対応をお願いしたい。（対処薬剤は質問あれば答えるとのこと）
- 薬害の安全性については、業者自宅の庭木で安全確認を行う。
- 3組で実施するが、事前の注意連絡等を綿密に行う。
- 午前と午後の一応の目安を街区別に設ける（但し若干の変更もありうるものをご承知おき下さい）。
- 木に付着して一見生きていようだが、死骸が付着しており木を揺ると落ちてくるので念のため。
- 今回も一律一戸あたり1700円とする。

いずれにしても、年2回の一斉害虫駆除だけでは完全な害虫駆除は無理というのが、おおかたの園芸愛好有識者の意見のようであります。そこで個別対応の補完的駆除を少しでも楽にする効用が、この一斉害虫駆除にあるのではと考えています。

以上

（文責）衛生部理事・岡田 昭夫

《子供コーナー》

【おたのしみかい】 2年生 近藤孝平

8月24日、おたのしみ会に、行きました。はじめに、〇×クイズをやって、ほくはぜんもんせいかいして、しょうひんをもらいました。つぎに、ベイブレードで、一かいせんは、かったけど、二かいせんはまけました。まけたからストライクアウトをやったら、5まいあてて一いになれたから、500円の図書けんをもらいました。この日はぼくのたんじょう日だったので、しょうひんを二つも、もらってよかったです。つぎの日は、ほんおどりに行きました。スーパーボールすくいと、水ヨーヨーつりと、わなげをしました。わなげは、三つともぜんぶ入りました。二日かん、楽しかったです。

【なつやすみのおもい出】 2年生 藤井健一

かぞくでなつやすみに2はく3日で、山なしけんのきよ里に車でりょこうに行きました。うちからつくまで4じかんもかかりました。さいしょに行ったのは、「もえ木の村」というところです。ここは、森の中にいろいろなお店があって「メリーゴーラウンド・カフェ」というところでは、本当にメリーゴーラウンドにのりました。あと弟といっしょにだれかがとばしたしゃぼん玉をいくつわれるかきょうそうをしました。とまったペンションでは、ほかにとまっていたおともだちと、よる10じまであそんで楽しかったです。

つぎの日は雨だったので、「絵本ミュージアム」と「絵本村」に行きました。よるは、「ぎんがてつどうのよる」というえいを見に行きました。さい後まで見られなかったので、このつづきは、本を読んでみたいです。

【今井浜海水浴場】 4年生 近藤健太

八月七日から、九日まで、二泊三日で旅行に行きました。一日目、今井海水浴場に行きました。そこには左側に、岩場がありました。その近くには、大きくて、15cm~20cmくらいの魚がうじゃうじゃいました。ぼくのすぐ横を泳いでいるので、その魚をつかまえることにしました。でも、あみがないので、バケツでつかまえることにしました。でもなかなかつかまえられません。最後には、あきらめてしまいました。

次に、ボディボードを始めました。最初は、波に、うまくのれなくて、二回くらい回ってしまいました。そのとき、ゴーグルを流されてしまいました。少したって、弟も同じ方法で、ゴーグルを流されてしまいました。

次の日、お母さんが、ライフセーバーの所に、すなをいれる、ふくろをもらいにいったとき、ぼくのゴーグルがライフセーバーのいすの所にぶらさがっていました。でも、弟のゴーグルはみつきりませんでした。

やっぱり海は、楽しいなあと思いました。

【2人だけで鹿児島へ！】 5年生 田村美奈子

8月11日、私と弟は、ジュニアパイロットで2人で鹿児島に行きました。鹿児島には、おじいちゃんとおばあちゃんがあります。2人で飛行機に乗るのは、初めてでした。すごくドキドキしましたが、スチュワーデスのお姉さんがやさしくしてくれたのでちょっとホッとしました。

鹿児島では、桜島や鹿児島水族館に行きました。“そうめん流し”にも行きました。ぐるぐる回っているそうめんをすくうのがとっても楽しかったです。弟もじょうずにすくって食べることができました。

高千穂牧場にも行きました。牛や羊がいます。ここのヨーグルトは、おいしくて私も弟も大好きです。お土産に買ってもらいました。おじいちゃんとおばあちゃんと弟と私の4人でソフトクリームを食べました。

6日間の鹿児島旅行でしたが、おじいちゃんがいろいろ計画してくれて、あつという間に終わってしまいました。私と弟はすごく楽しかったので“冬にも行きたい”と思ったのですが、おじいちゃんとおばあちゃんは“つかれた！”と言っていたらしいです。でも、また会いに行きます。

【TBS子ども音楽コンクール】 6年生 岸裕子

白岡東小学校の六年生は、TBS子ども音楽コンクールに合唱部門として埼玉地区大会に出場することができました。埼玉地区大会に出場するためには、カセットしんさを通かしないと出られないのですが、学校の音楽の時間に歌ったり、朝の会で歌ったり、六年生全員で合わせてみたりして、みごとカセットしんさを通かすることができました。

今までの六年生は、みんな埼玉県地区大会に出場しているので今年も出場できて良かったなあと思います。

夏休みの練習は、いつも学校のプールの先か後です。今年のプールは、毎日午後なので音楽の練習を忘れずに行っていました。

先生方は、この夏の暑い時にも、学校へ来て、指導してくれました。その結果みごと、優秀賞を受賞することができました。

私は、この夏のとてもいい思い出になったと思います。来年の六年生にも、ぜひ、埼玉地区大会に出場してほしいと思っています。

【イルカ】
2年生 田村こういち



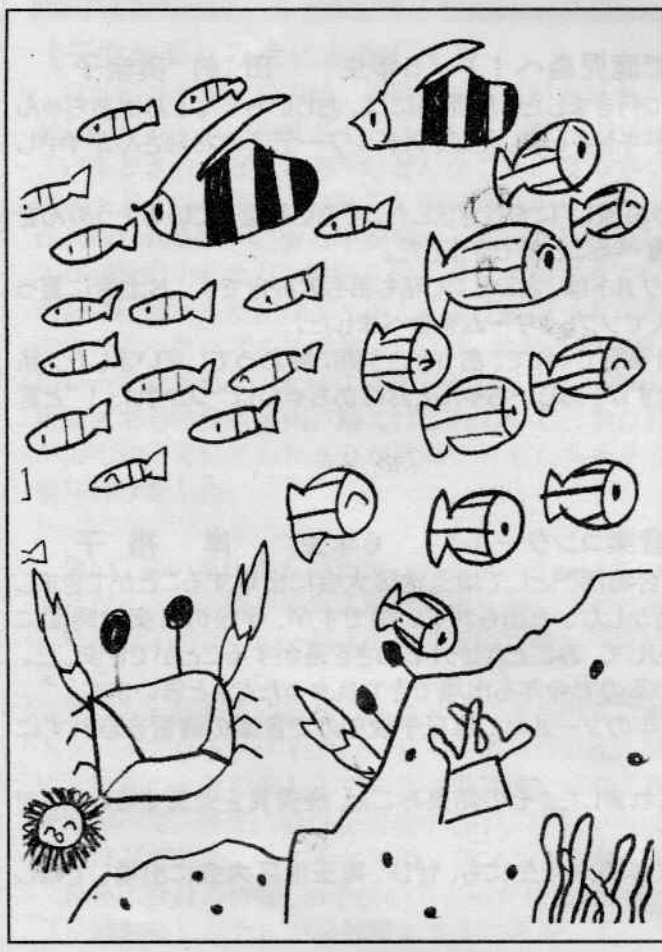
【きれいな花火】
2年生 藤井健一



【楽しいさんぽ】
2年生 長浜理生子



【おきなわの海】
3年生 湯口桃子



【楽しいまつり】
3年生 まつ本知子



《若人（高校生・大学生・若い人）コーナー》……高齢化が進んで行くニュータウンに新しい血を注いでいきたい、そんな思いで新しく『若人コーナー』を新設しました。定着してくれることを願います……

……白岡ニュータウンに期待すること……

高二 新井 佳奈子

白岡ニュータウンには、これといって目玉となるようなものがあまりないように思います。食料品以外のものを買うに行くときには他の所へ買いに行かなくてはならないし、通勤や通学をニュータウン内で済ませられる人、少ないと思います。大都市からは少し離れているけれど、白岡ニュータウンはベッドタウンといってもいいはずですよ。

そこで私がそんな白岡ニュータウンに期待することは、いつでも白岡ニュータウンに帰ってきたときには、ほっとできるような街づくりをすることです。例えば、少しお金がかかってしまうけど電柱についている蛍光灯を白熱灯に変えたり、もっといろんなところに花や木を植えたり、ニュータウンのシンボルとなるような時計台をつくったり、休日などに家族で楽しめるような施設やイベントを設けたり、夜に散歩やランニングをしている人が多いのでニュータウン1周くらいの安全で明るいランニングコースをつくったりすれば、楽しくていつまでも住んでいたいと思うような街になると思います。また、もうすでに行われているニュータウン専用のテレビチャンネルは普段同じニュータウンに住んでいる人が何をしているのかも分かるし、泥棒などへの注意にも役立ってとても良いと思います。

もし私が、将来どこか別の場所で暮らしていたとしても、「私の実家は白岡町の白岡ニュータウンです。」と胸をはって言えるようなすばらしい街づくりを期待しています。

……この街に期待すること……

高二 田村 道隆

僕が白岡町にきてこのニュータウンに住み始めたのは3才の時、まだ物心がつき始めたばかりの頃である。それから今までずっと、ここに住んできたわけだが、その間に白岡ニュータウンは見違えるほど発展してきたと思う。来たばかりの頃は私の家（白岡高校の辺り）から新白岡駅がみえてしまったのだから、発展の凄さがわかる。白岡ニュータウンは1000世帯を超え、また、マンションも数多く出来た。しかし、そこで一つ思うことだが、住宅地の発展に比べ、商業施設の進出が遅れているのではないだろうか。事実、本やCDが欲しい時には白岡駅や久喜、はたまた車でどこかにいかなくてはならないし、洋服や電化製品も安く良いものを買うには、遠出しなければならない。そういう意味ではニュータウンは決して恵まれているとはいえず、今の若い世代がこの街に住み続けるかどうかは疑問である。また、どうも白岡町というのは知名度が高くない。知っていても、決して良いイメージではなく、「何もない所」というイメージが強い。このイメージを払拭しない限り、人の流出は避けられないだろう。

ここまでは白岡ニュータウンの良くない所を挙げてきたが、もちろん私は白岡が嫌いなのではない。静かで緑多い住宅地であり、近くには憩いの場となる公園も数多くある。そして何より素晴らしいのが、地域の人々の心がやさしいことだ。この前私は自治会関係のお手伝いをする機会があったのだが、その時仕事を良く分かっていない私に周りの方々が色々フォローして下さった。これも、ニュータウンならではの人の温かみではないだろうか。だから、このような良い所は残しつつ、もっと生活に良い条件を整えば、私たちはよりこの街に住み続けたいと思うだろう。

……地域における情報のあり方……

社会人 山下 幹太

今年の夏は暑かった。職場や自宅から一歩足を踏み出し夏の外気に触れた途端、アスファルトの照り返す温度と、忙しい蝉の鳴き声が、否応なしに襲ってくる。ふと「今、何度だろう？」と思ったりするのは、私だけではなかったはずだ。

最近個人的に、2chで受信可能な地域情報を眺めるようにしている。仕事柄、演出や音源や、MAや、そういった事も気になるのだが、やはり一番興味深いのは、その地域性豊かな情報だと言える。普段自宅にあまりいない私のような者でも、チャンネルを合わせ、10分ほど眺めれば、大よその町の「今」が分かってくる。

情報化社会と言われる現代。インターネットや、雑誌、新聞、各種メディアなどで、「調べる」行為さえあれば、気軽に情報を手にすることが出来るようになった。ただこうして一方的に手に入れる情報だけでなく、双方向で共有しあえる情報、今後はそういった情報が活かされる時代がやって来る。例えば、それはこの広報誌であったり、2chの地域情報であったりするのだが。

2ch TVのますますの発展を願いたい。「1丁目の只今の気温は32度です」などとさりげなく表示されたりする、そんな町の「今」と「現在」を伝える存在であってほしいと思う。

《子供スポーツコーナー》

“生涯スポーツ”

……健康が一番……

白岡東バレーボールクラブ代表

細野 勇人

平成7年に白岡東小学校が開校して、2年後、町教育委員会と初代校長鈴木敏夫先生の奨めで、バレーボール教室を開催しました。そして、平成9年に「女の子の体力向上」を目的として、バレーボールクラブを結成しました。本来、スポーツ少年団の活動は土・日曜日に集中して行われます。しかし、この2日間だけに練習や試合を詰め込んでいくと、月曜日には子どもたちに疲労が残ります。近年、小学生のうちから、筋肉痛や関節炎を起こす子どもたちが多いことに驚いています。良いと思ってやっていることでも、無理をすれば成長期にある子どもたちの体を害することになります。

現在、クラブ員は23名、指導員5名で活動しています。役員さんを中心とした父母会も大変協力的で、活動をバックアップしていただいています。(お父さんの姿があまり見られないのが残念です。)

クラブを結成して5年目、秋の予選を勝ちぬいて、県大会に初出場しました。さらに、今春の新人戦においても県ベスト16に入りました。交流大会等で優勝や入賞することも増え、子どもたちは、体力と技術を着実に身につけています。

サッカーのワールドカップ人気で、すっかり存在が薄れてしまったバレーボールですが、春高バレーやオリンピックで活躍する選手が当クラブから誕生してくれることを期待しています。「東洋の魔女」に始まり、数々の大会でメダルを手にしてきたバレーボール強国日本の復活が待たれます。

そして、何よりも、スポーツの楽しさを体感しスポーツを続けていくことで、子どもたちが生涯を心身ともに『健康』に過ごすことを願っています。



【めざせ、県大会！！】

6年生 三浦江梨花

私は、白岡東バレーボールクラブに入団して、4年目になります。私たちは、新人戦の時に県大会に出て、ベスト16でした。

その時から私はずっと県大会に出て、ベスト8に入るという目標をもっていました。それから、いろんな試合に出て、ボロ負けしたこともあり、優勝したこともありました。

ついに、県大会に出るための試合が近づいてきました。その試合は、読売旗争奪大会が9月にあり、県スポが11月にあります。県大会に出るためにも、暑い夏をふき飛ばすくらいのおいおいで私は練習をしていきたいと思えます。県大会に出て、ベスト8に入るという目標がかないますように！！

【めざせ！全国大会！！】

5年生 谷地桃子

私の夢は全国大会に出ることです。夏休みが始まって、8月4日の東部大会に向かって毎日練習をしました。その結果、ブロック優勝することができました。私は、優勝したしゅん間、「がんばったんだ。やればできるんだ。」と思いました。もっともっとがんばろうと思いました。

5月に行われたペプシカップの全国大会も8月にありました。私たちのチームは出場できませんでしたが、県予選で戦った嵐山ガッツが全国大会で3位に入ったことを新聞で見て、びっくりしました。9月に読売大会があります。嵐山ガッツを目標にして、みんなで仲良く、楽しく、力を合わせて、がんばりたいです。



《悠友会コーナー》

『白岡まつりに参加して』

去る8月3日、恒例の白岡まつりが行われました。当日、昼間は猛暑の炎天下各種のイベントが盛大に行われ、夕宵迫る6時から白岡おどりの開始でした。白岡老人クラブ連合会健康体操部は“連”に60名の大勢で出陣、その中に悠友会からは10名が参加しました。今年は藤藤静香様デザインの黄色の可愛いTシャツ姿の出で立ち、老人クラブとは程遠い若々しい姿には見物の方からは大きな歓声が上がるほどでした。数多い各種団体の“連”の行列、色彩豊かな衣装姿、夜宵と共に頭上の提灯の輝きに照し出された素晴らしい光景、庁舎前から流れる音楽、クラブ紹介の言葉を耳に、夏の夜空を背に踊る姿は疲れを忘れる光景でした。白岡おどりは最高潮に達しました。



こんな“連”の中で踊れる幸せを感じながら、おどりも一時休憩に入り、文化部で用意して頂いた手づくりの食べ物、冷たい飲み物を口に浸しながら、夜空に打ち上がる花火の美しさに見入りました。

おどりの後半、庁舎の廻りを一周する頃には、次から次に打ち上げられる花火が白岡おどりのフィナーレを飾るにふさわしく、花を添えてくれました。白岡おどりに参加出来たこと、おどりの“連”の美しさ、花火の美しさ、そして自分達が身につけた黄色いTシャツのちょっとしたおしゃれ感覚を味合うことが出来たこと、健康で参加出来た幸せを感じたひとときでした。お世話になった方々に感謝申し上げ、来年も又元気な姿で参加出来る様、心と体の鍛錬にこれ努めて参りたいと念じています。

(白老連健康体操部役員・悠友会理事 山形 恭子)

『おばあちゃんの手芸教室』

夏休みが終わりに近い、8月19日の月曜日サウスプラザでは、小学1年～6年の男の子6名・女の子5名、計11名の生徒が集まって、〈空の牛乳パック〉で《筆立て》を作りはじめました。応援は悠友会の女性理事12名です。

会場の中は、小鳥のような黄色い声が飛び交い、澄んだ目がちょっぴり真剣になり、小さな指がなんとなく器用に動いて、次第に〈空の牛乳パック〉が多様に多彩に、それなりに変身してゆきます。

小一時間も過ぎた頃、あちこちで「やった！」のVサイン・「出来た！」の得意顔が……。《筆立て》の出来上がり具合は如何に……見ると、少しイビツに曲がった物・化粧紙がちょっと破けている物・勿論中々の出来ばえの物もありました。こうして全員が各一個ずつのオリジナルを作りました。



「バンザイ」

“手芸教室”と云えば、ホワイトボードに作り方を張り付けて講義したり、見廻って分からないところを教えたりする姿を想像しますね。

違うんだな！これが！……。肩を寄せ合い指を触れ合い、和やかにお喋りしながら……まさに〔教室〕ではなく〔共同工作室〕になっていたのが、何とも微笑ましいですね。

物を作る喜びの中で、可愛い小学生達と、優しい女性理事さん達の出会……うーん、いい雰囲気だったなー！

この、[楽しかったひととき]は、夏休みの思い出の一つとして、子供達が持ち帰った《筆立て》の中に、そーっと入り込んでいますね。……きっと。

(悠友会福祉部理事 石野 尋雄)

“我が故郷”

1-28-11 宮城征子

“東に筑波、西浅間……”と歌にも歌われています。羽生市は、関東平野のまんまん中にあり、田山花袋の小説「田舎教師」で最初に登場してきます。この小説が書かれてから100年が経っていますが、田舎の風景はまだ少し残っているような気がします。

東武伊勢崎線の羽生駅を出るとまもなく右側に建福寺というお寺さんがあり小説「田舎教師」の主人公林清三が眠っています。

そこから4kmほど南にある「砂山」という所が我が故郷です。市の北側には利根川があり、“俺は川原の枯すすき、同じお前も……”と亡き母がよく口ずさんでいたのを思い出します。利根川は、この歌にあるように情緒のある風情だけでなく、「坂東太郎」の名のごとく昔はよく氾濫したそうです。砂山には名のとおり、利根川からの砂が堆積した山があったが、何処かの建築などに使われたのだろう、山はすっかりなくなり、今では自動車置き場になっています。田畑の光景は昔の面影があるが、近くにはパチンコ家が大繁盛、また、工場団地もでき、徐々に我が故郷にも近代化の波が押し寄せてきています。

市の北部には、県下で最も有名なさいたま水族館があり、特に川魚は実に見ごたえがあります。特別記念物としても有名な食虫植物「むじなも」やムサシトミヨ、ミヤコタナゴなどでも広く知られています。そこから車で5分ほどのところ、羽生インターの近くに「キャッセ羽生」が数年前に誕生した。羽生市の特産品の売店、ドイツスタイル地ビールや洋食のレストランなどがあり、小高い丘には四季の花が植えてあり、遊園地気分が味わえます。本当に‘キャッセ’羽生です。

《編集後記》

何もわからぬまま、広報の仕事を受けました。先ずは他の役員さん方の迷惑にならぬようにと思っているところです。

今年は防虫駆除の会社が改まりましたが、いかがでしたでしょうか。9月中旬より第2回目の「庭木害虫駆除」が実施されます。一斉実施が望ましいということですので、どうぞご協力の程、よろしく願いいたします。また、「盗難事件」に関しても会員皆様の関心が高いと思います。どうぞ今回の「9月お月見号」の特集をお読みになって、参考にしていただけたらと思っております。 (佐藤)

前回と違って今回は、原稿の締め切りまで1ヶ月以上あり、心の余裕があった。しかし、猛暑、残暑のなかでは、なかなか作文に身が入らず、結局何時ものとおおり間際までかかってしまった。家内への執筆願い、また、子ども会への依頼は二度目となると、何となく気後れた。 (宮城)

文章を書くのが苦手な私が広報部の一員になってしまい、精神的にも少しプレッシャーを感じる日々が続いています。

仕事とは言え、連日記事を書き続けているプロの記者の皆様の努力には脱帽するばかりです。巷では大企業による不祥事が続き、日本全体が不信感に被われてしまっているようです。毎日、不愉快な内容の文章ばかり書いていては、ストレスも相当溜まってしまいうでしょうね。

明るく、楽しい話題に満ちた文章がより多く目に入ってくる社会に早くなって欲しいと願っています。 (永田)

どちらかという今号の発行時期は8月をはさんでいるということもあり、通常原稿の題材に迷うことが多いはずですが、本年は防犯問題、害虫駆除問題等検討テーマが多く、誌面も盛りだくさんになりました。関係各位のご努力により有益な情報・知識が多く載せられておりますので、日常生活に是非お役立て頂きたいと思えます。 (田村)

自治会最大のイベント“盆踊り大会”も無事終わり、秋の気配が感じられます。大勢の皆様が参加、子供達が踊りの輪に入り華やいだ盆踊りでした。願わくは踊りの“輪”にお父さん、お母さんの参加を期待したいものです。広報部のカメラマンとして皆様の幸せな一コマ、一コマをカメラに収めることが出来ました。素晴らしい顔、顔、顔……ニュータウンの現状を……素晴らしい街です。

自治会だよりも今年4号目です。9月号には新しく“若人コーナー”を設けました。高齢化していくニュータウンにこれからの時代を担う若人に新しい血を注いでいただきたい、そんな思いで、新しい街造りにと企画しました。これで内容は別として、子供、若人、中高年現役の方、そしてシルバーと全世代にわたる“自治会だより”になって参りました。

街は盗難事件、種々の業者の悪質営業など不安な状況下、そして社会全体が不安定な時代、ニュータウン一丸になって『住み良い街』造りにと努力して参りましょう。 (岡本)